

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 パイオラックス
 コード番号 5988 URL http://www.piolax.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島津 幸彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部経理グループリーダー (氏名) 郷原 慎一 TEL 045-731-1211
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	31,335	6.5	4,400	1.4	4,839	1.6	3,446	3.2
27年3月期第2四半期	29,431	11.7	4,339	26.9	4,761	23.4	3,338	19.6

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 3,667百万円 (20.4%) 27年3月期第2四半期 3,046百万円 (△35.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	288.69	—
27年3月期第2四半期	268.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	85,497	73,158	84.1
27年3月期	82,794	69,877	82.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 71,868百万円 27年3月期 68,610百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	27.50	—	32.50	60.00
28年3月期	—	35.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	5.9	8,300	2.7	8,800	△4.4	5,900	△6.4	494.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有
（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	13,084,700株	27年3月期	13,084,700株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,146,230株	27年3月期	1,146,195株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	11,938,488株	27年3月期2Q	12,438,565株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(参考資料)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府・日銀による経済政策や金融緩和等により個人消費、雇用情勢が底堅く推移し、景気は全体として緩やかな回復基調にあるものの、円安による輸入価格の上昇や中国をはじめとした新興国の景気減速などの不安要素もあり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要なお取引先である自動車業界につきましては、海外では米国を中心に好調を持続しておりますが、国内では輸出は好調なものの4月からの軽自動車税増税等の影響等により、国内生産台数は4,446千台と前年同期比7.0%の減少となりました。このような需要環境のもと当社グループといたしましては、お取引先からのニーズを確実に捕捉し、グローバルな拡販活動を継続的に推進した結果、売上高は31,335百万円と、前期比1,903百万円(6.5%)の増収となりました。

一方利益面におきましては、増収効果に加え、より一層の合理化を推進いたしました結果、営業利益は4,400百万円(前期比1.4%増)、経常利益は4,839百万円(前期比1.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,446百万円(前期比3.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(自動車関連等)

グローバル拡販を積極的に推進した結果、売上高は29,441百万円(前期比6.3%増)となりました。一方利益面においては、増収効果に加え収益改善活動を推進したことにより、営業利益は4,662百万円(前期比0.8%増)となりました。

(医療機器)

新製品が好調な販売を呈し、売上高は1,894百万円(前期比9.9%増)となりました。一方利益面においては、増収効果等から営業利益は98百万円(前期比44.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、現金及び預金、投資有価証券の増加等により2,703百万円増加し、85,497百万円となりました。

負債合計は、買掛金、未払法人税等の減少等により577百万円減少し、12,339百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加等により3,280百万円増加し、73,158百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、税金等調整前四半期純利益4,839百万円および減価償却費1,858百万円等の収入要因に対し、法人税等の支払額1,431百万円および有形固定資産の取得による支出1,584百万円等の支出要因の結果、前連結会計年度末と比較して2,331百万円(14.3%)増加し、当第2四半期連結会計期間末には18,688百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費および法人税等の支払額等により4,244百万円の収入(前年同期比66.6%増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により1,471百万円の支出(前年同期比36.6%減)となりました。

なお、営業活動により得られたキャッシュ・フローと投資活動により使用したキャッシュ・フローを合計したフリー・キャッシュ・フローは、2,772百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により431百万円の支出(前年同期比366.7%増)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成27年5月12日の「平成27年3月期 決算短信」で公表した数値から変更していません。

なお、本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1百万円減少しております。また、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が1百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,438	18,568
受取手形及び売掛金	13,377	13,363
電子記録債権	974	1,111
有価証券	287	287
商品及び製品	4,251	4,414
仕掛品	1,738	1,651
原材料及び貯蔵品	1,788	1,797
その他	2,309	2,371
貸倒引当金	△61	△68
流動資産合計	41,104	43,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,118	7,932
機械装置及び運搬具(純額)	8,140	7,909
工具、器具及び備品(純額)	2,590	2,700
土地	5,222	5,223
リース資産(純額)	78	72
建設仮勘定	1,387	1,535
有形固定資産合計	25,538	25,374
無形固定資産		
のれん	7	6
その他	869	845
無形固定資産合計	876	851
投資その他の資産		
投資有価証券	13,946	14,378
その他	1,328	1,396
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	15,274	15,774
固定資産合計	41,689	42,000
資産合計	82,794	85,497

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,027	2,895
短期借入金	1,228	1,254
未払法人税等	1,038	934
引当金	810	813
その他	3,702	3,147
流動負債合計	9,807	9,044
固定負債		
退職給付に係る負債	174	243
資産除去債務	18	18
その他	2,915	3,032
固定負債合計	3,109	3,295
負債合計	12,916	12,339
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,960	2,960
資本剰余金	2,696	2,697
利益剰余金	59,973	63,033
自己株式	△2,836	△2,836
株主資本合計	62,794	65,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,675	1,672
為替換算調整勘定	4,281	4,456
退職給付に係る調整累計額	△140	△115
その他の包括利益累計額合計	5,815	6,013
非支配株主持分	1,266	1,289
純資産合計	69,877	73,158
負債純資産合計	82,794	85,497

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	29,431	31,335
売上原価	20,768	22,116
売上総利益	8,662	9,218
販売費及び一般管理費	4,323	4,818
営業利益	4,339	4,400
営業外収益		
受取利息	26	29
受取配当金	21	24
持分法による投資利益	366	358
その他	122	110
営業外収益合計	536	523
営業外費用		
支払利息	32	31
デリバティブ評価損	51	—
為替差損	—	10
固定資産廃棄損	12	13
賃貸収入原価	4	6
その他	13	22
営業外費用合計	114	84
経常利益	4,761	4,839
税金等調整前四半期純利益	4,761	4,839
法人税等	1,380	1,371
四半期純利益	3,380	3,468
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	21
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,338	3,446

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	3,380	3,468
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211	124
為替換算調整勘定	△589	153
持分法適用会社に対する持分相当額	43	△79
その他の包括利益合計	△334	199
四半期包括利益	3,046	3,667
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,009	3,644
非支配株主に係る四半期包括利益	36	23

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,761	4,839
減価償却費	1,518	1,858
のれん償却額	1	1
持分法による投資損益(△は益)	△366	△358
デリバティブ評価損益(△は益)	51	△28
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	43	69
賞与引当金の増減額(△は減少)	5	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	△4
環境対策引当金の増減額(△は減少)	—	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	6
受取利息及び受取配当金	△47	△53
支払利息	32	31
固定資産廃棄損	12	13
売上債権の増減額(△は増加)	△343	△20
たな卸資産の増減額(△は増加)	△433	△35
仕入債務の増減額(△は減少)	△464	△513
その他	△159	△205
小計	4,606	5,606
利息及び配当金の受取額	117	101
利息の支払額	△32	△31
法人税等の支払額	△2,143	△1,431
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,547	4,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	512	203
有形固定資産の取得による支出	△2,794	△1,584
有形固定資産の売却による収入	6	29
無形固定資産の取得による支出	△23	△59
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
その他	△21	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,322	△1,471
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	213	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△288	△400
非支配株主への配当金の支払額	△13	△25
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△92	△431
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	134	2,331
現金及び現金同等物の期首残高	15,818	16,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,952	18,688

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	27,708	1,723	29,431
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	27,708	1,723	29,431
セグメント利益	4,626	68	4,694

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,694
全社費用(注)	△378
セグメント間取引消去	30
その他の調整額	△6
連結損益計算書の営業利益	4,339

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	自動車関連等	医療機器	合計
売上高			
外部顧客に対する売上高	29,441	1,894	31,335
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	29,441	1,894	31,335
セグメント利益	4,662	98	4,760

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,760
全社費用(注)	△384
セグメント間取引消去	29
その他の調整額	△6
連結損益計算書の営業利益	4,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要な該当事項はありません。

(参考資料)

[所在地別セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	15,865	5,225	6,403	1,936	29,431	—	29,431
(2)セグメント間の内部売上高	2,519	20	824	8	3,373	△3,373	—
計	18,385	5,246	7,228	1,944	32,805	△3,373	29,431
営業利益	2,802	679	639	275	4,396	△57	4,339

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去 又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	14,994	6,638	7,622	2,081	31,335	—	31,335
(2)セグメント間の内部売上高	3,028	46	820	40	3,935	△3,935	—
計	18,022	6,684	8,443	2,121	35,270	△3,935	31,335
営業利益	2,491	892	723	347	4,455	△54	4,400